

考古学おいでまいど2

聴講無料
事前申込制

(オンデマンド On Demand 企画)

この講座は、昨年度新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から延期としていたものです。「考古学おいでまいど2」と題して、皆様のアンケートで要望の多かったテーマや事柄を焦点に開催します。事前にお申込みの上、ご参加ください。



重文・尾道常称寺本堂 (尾道市)

回	期 日	テーマと概要	講 師
1	令和3年 5月8日(土)	尾道の中世瓦 — 時宗寺院・常称寺の発掘調査から — 尾道を代表する中世寺院・常称寺の発掘調査の成果のなかで瓦から考えられる当時の商人や海賊衆の活動についてお話しします。	西井 享 (尾道市企画財政部 文化振興課)
2	5月15日(土) 7月24日(土)に変更	世羅台地の考古学 — 古代から中世にかけての世羅台地 — 遺跡の宝庫・世羅台地の古代から中世の遺跡について、考古学の成果などから紹介します。	林 光輝 (世羅町教育委員会 社会教育課)
3	6月19日(土) 7月31日(土)に変更	古代郡衙の謎に迫る — 「日本霊異記」記載の三谿郡の考古学 — 「日本霊異記」に登場する三谿寺(三次市)に関連する三谿郡衙(郡役所)の遺跡について考古学の成果などからお話しします。	和田崇志 (廿日市市教育委員会 生涯学習課)
4	7月3日(土)	埋蔵文化財からみた呉の海軍関連遺構 呉市内に今も残る鎮守府や海軍工廠などの海軍関連施設について、埋蔵文化財の調査成果を中心にお話しします。	荒平 悠 (呉市文化スポーツ部 文化振興課)
5	7月10日(土)	庄原の前方後円墳 — 最近の調査から — 県内では大型の前方後円墳が集中する地域として知られる庄原市内の大型前方後円墳の様相や最近の調査成果を紹介します。	稲垣寿彦 (庄原市教育委員会 生涯学習課)
6	7月17日(土)	鋸と日本刀 — 古代の鍛冶技術の革新 — ともにその起源は大陸にありながら、古代末期に日本独特の道具や武器となる鋸と日本刀の鍛冶技術の革新について考えます。	伊藤 実 (当事業団 埋蔵文化財調査室)

会場のご案内



会 場：**広島県立美術館 地下1階 講堂**

(広島市中区上幟町2番22号 電話：082-221-6246)

時 間：**14時00分～16時00分**(開場は13時30分)

申 込：裏面の申込書の要領で、電話・FAXまたはホームページのお問合せフォームから、下欄の【申込・問合せ先】にお申込みください。

申込期限：先着順(定員になり次第締切)

定 員：120名

【アクセス】

交通機関：路面電車 JR広島駅南口Aホームから1・2・6番に乗車→「八丁堀」乗り換え→白鳥線電車

「縮景園前」下車すぐ

バス JR広島駅新幹線口からひろしま観光ループバス「ひろしまめいぶる～ぶ」オレンジルートに乗車→「県立美術館前(縮景園前)」下車

駐 車 場：(地下駐車場)有料45台(1時間360円、以後30分ごとに180円)

【主催】【申込・問合せ先】

(公財) 広島県教育事業団埋蔵文化財調査室

〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目8-49 <https://www.harc.or.jp>

電話：082-295-5751

FAX：082-291-3951

